

## 予防医療の進歩

### ■HPVワクチン接種への取り組み

6月29日のさきがけ新聞に「がん予防 HPVワクチン／にかほ市／無料接種、男性にも／県内初、費用を全額助成」という記事が掲載されました。

HPVワクチンについては過去の市長コラム（No.48）にてすでにお知らせしていましたが、今年度からは定期接種になりましたが、今年度からは定期接種になったことで市の単独負担がなくなりました。そこで、次の一歩としてはじめたのが男性のHPVによるがんの予防ワクチン接種費用の一部助成です。

### ■带状疱疹ワクチン接種について

新たな取組みとして検討しているのが带状疱疹（たいじょうほうしん）ワクチン接種への助成です。带状疱疹とは、子どものときに感染する水ぼうそうウイルスが原因でおこる皮膚病です。水ぼうそうが治ったあとも、日本人成人の90%以上はこのウイルスが残っています。带状疱疹の発症率は50歳から急に高くなります。それは年齢とともに免疫力が弱まるからで、80歳までに3人に1人が带状疱疹になると言われています。

带状疱疹は、ストレスなどで免疫力が低下したときに、ウイルスが再活性化して発症します。带状疱疹に体の神経にそって赤い斑点と水ぶくれが、とくに上半身や顔面、目の周りに発生し、しかもピリピリ



と刺すような痛みをともないます。治療は抗ウイルス薬の服用が基本ですが、約20%の人に後遺症がのこるとされており、予防の大切さを強く言われています。そして、その予防方法のひとつがワクチン接種ということになりました。

### ■肺炎球菌ワクチンのはなし

ちよっと昔のはなしになります。15年前のはなしです。平成20年3月議会で、私は「肺炎球菌ワクチン予防接種への公費助成を制度化することの必要性」を一般質問したことがあります。

高齢者が亡くなるおもな原因の一つが肺炎です。たとえば、新型コロナウイルスにしても、結局のところ重症化とは肺炎になることです。いま肺炎球菌ワクチンは65歳以上の高齢者への定期接種となり、市は1回限り3千円を助成しています。このワクチンの効果は5年間ですが、その予防効果を考えればワクチン接種はとても大切だと思えます。

15年前はまだ肺炎球菌ワクチンを知っている人が少なく、原則的に任意接種で

## 秋田に帰ってきませんか？

にかほ市では、秋田県と連携して県外に住む学生や社会人の方々の秋田での就職や定住をサポートしています。家族が帰省する機会に「秋田に戻ってこない？」と呼びかけてみませんか。秋田を離れて暮らす家族や知り合いで「そろそろ秋田に帰ろうかな」「秋田に住んでみたい」という方がいましたら、ぜひ次の相談窓口を紹介ください。

### ▷学生就活サポート・Aターン就職相談窓口「Aターンプラザ秋田」

ところ 都道府県会館7階 県東京事務所内（東京メトロ永田町駅地下直結）  
連絡先 ☎0120-122-255（月～金）9:00～17:45

### ▷移住・就職相談窓口「あきたで暮らそう！Aターンサポートセンター」

ところ 東京交通会館8階 ふるさと回帰支援センター内（JR有楽町駅前）  
連絡先 ☎080-9292-5195（火～日）11:15～18:00

### ▷秋田県あきた暮らし・交流拠点センター「アキタコアベース」10月1日OPEN予定

ところ 京橋ヨツギビル1階（東京メトロ京橋駅から徒歩2分）

### ▷Aターン就職登録・相談窓口「秋田県ふるさと定住機構」

ところ 秋田テルサ3階（秋田市御所野）  
連絡先 ☎018-826-1731（月～金）9:00～17:00

### ▷移住相談窓口・無料職業紹介所「にかほ一む」

ところ にかほ市役所商工政策課内  
連絡先 ☎0184-43-7600（月～金）8:30～17:15

東京

秋田

にかほ



## あきたまるごとAターンフェア

2023  
8,12  
SAT.

会場 秋田テルサ 1階体育館  
（秋田市御所野地蔵田3丁目1-1）

特設サイト <https://akita-ijyu.jp/>

秋田県では、県外在住者等を対象とする就職イベント「あきたまるごとAターンフェア in 秋田」を開催します。当日は、県内企業ブースを出展し個別相談を行うほか、Aターン就職相談、移住相談等を受け付けます。にかほ市の相談ブースもありますので、家族や知り合いでAターンを考えている方がいましたら、ぜひこのフェアのことを紹介ください。予約不要です。

11:00～15:00 ■問合せ先 にかほ市 商工政策課 ☎43-7600 / 秋田県 移住・定住促進課 ☎018-860-1234



にかほ市長  
市川雄次

生活の質を向上させる  
医薬の進歩によって、これまで予防や治療ができなかったものができるようになってきています。必ずしも命を守るというはなしだけではありません。たとえば、それまで疾患によって生活の質が保てないでいたものが、あらたな治療薬のおかげで劇的に改善しはじめています。予防ではありませんが、最近、アトピー性皮膚炎のかゆみを抑える新薬が次々とできてきています。かゆみがなくなったとき、アトピー性皮膚炎によって苦しんでいた人たちの人生そのものが劇的にかわると思います。

いま新たなワクチンや治療薬が、予防医療を大きく前進させています。そして、予防医療は健康寿命をのばす一次予防としてだけでなく、命を守り、生活の質を高め、本人をとりまく家族全体の苦しみをやわらげる役割を果たしてくれているのです。

した。費用は1回8千円でしたが、年金生活者にとっては大きな負担でした。そこで市が助成するべきでないかということとを一般質問の中で述べたわけでした。

